



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社電算システムホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 4072 URL <https://www.ds-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 領司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 八島 健太郎 TEL 058-279-3456
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	17,223	10.8	1,227	13.2	1,301	4.7	888	8.3
2025年12月期第1四半期	15,538	6.0	1,084	△3.2	1,242	8.5	820	4.3

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 834百万円 (1.4%) 2025年12月期第1四半期 822百万円 (△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	82.91	—
2025年12月期第1四半期	76.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	74,215	25,199	33.6
2025年12月期	69,112	24,881	35.6

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 24,959百万円 2025年12月期 24,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	2.7	3,650	0.7	3,850	0.2	2,620	△9.6	244.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	10,798,341株	2025年12月期	10,798,341株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	82,941株	2025年12月期	90,541株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	10,712,191株	2025年12月期 1 Q	10,668,312株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済におきましては、中東情勢の緊迫化による原材料・エネルギー価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境において当社グループは、経営理念であるPurpose（存在意義）の「情報技術と決済で豊かな社会を実現し、お客様の感動とその夢を叶えることで、社会に貢献する」を原動力に、長期ビジョン「Challenge1000」の達成に向けた事業活動を推進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は17,223百万円(前年同期比10.8%増)、利益においては、営業利益は1,227百万円(前年同期比13.2%増)、経常利益は1,301百万円(前年同期比4.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は888百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(情報サービス事業)

BPO分野では、東濃BPOセンターを基軸とした帳票作成代行が大型顧客の処理集約の影響を受けたものの、新規・既存案件の着実な拡大により、売上高はほぼ横ばいとなりました。一方、カタログ通販向け業務はネット通販の影響で減少が続いており、今後もこの傾向が続くと予想されます。利益面では、運用効率化や人員配置の最適化により費用削減を推進しました。SI・ソフト開発分野においては、オートオークション業向けシステム案件が好調であり、その他SI案件についても堅調に推移しています。商品分野では前期に受注したGIGAスクール構想に対応したGoogle Chromebook案件の納品を計画どおりに納入いたしました。クラウド・ライセンス分野においては、Google Workspace、Google Cloud Platformなどのクラウドサービス分野が堅調に推移いたしました。また、導入支援・移行サービスを含んだ案件が好調であったことから、エンジニア稼働が高水準で推移し利益を底上げしました。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は11,486百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益は638百万円(前年同期比52.1%増)となりました。

(収納代行サービス事業)

主力のコンビニ収納オフライン決済は、前期後半から売上高の成長が継続いたしました。利益面では、一部の仕入れ単価上昇や金利上昇による収納金管理コストの増加を内部効率化等で補いきれず、前年同期比では増収減益となりました。一方で、徹底したコスト管理の結果、営業利益率は期首計画を上回り、堅調な推移となっております。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は5,736百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は583百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して5,103百万円増加し、74,215百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が1,191百万円、前払費用が694百万円減少したものの、金銭の信託が5,284百万円、現金及び預金が1,012百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して4,784百万円増加し、49,015百万円となりました。これは主に契約負債が1,010百万円、買掛金が1,009百万円減少したものの、収納代行預り金が3,268百万円、短期借入金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して318百万円増加し、25,199百万円となりました。これは主に利益剰余金が348百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月9日の「2025年12月期 決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,666	23,679
金銭の信託	17,319	22,603
受取手形、売掛金及び契約資産	11,237	10,046
商品及び製品	579	879
仕掛品	345	596
前払費用	7,806	7,112
その他	1,075	945
貸倒引当金	△31	△33
流動資産合計	60,999	65,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,136	1,109
土地	791	791
その他（純額）	641	644
有形固定資産合計	2,568	2,545
無形固定資産		
のれん	594	553
顧客関連資産	464	452
ソフトウェア	618	741
ソフトウェア仮勘定	297	486
その他	0	0
無形固定資産合計	1,974	2,235
投資その他の資産		
投資有価証券	2,811	2,720
繰延税金資産	285	430
差入保証金	443	426
その他	116	105
貸倒引当金	△87	△78
投資その他の資産合計	3,569	3,603
固定資産合計	8,113	8,384
資産合計	69,112	74,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,610	5,601
短期借入金	—	3,100
1年内返済予定の長期借入金	131	131
未払法人税等	260	585
契約負債	10,728	9,717
収納代行預り金	22,288	25,556
賞与引当金	92	505
役員賞与引当金	—	6
受注損失引当金	62	63
株主優待引当金	44	41
その他	2,789	2,539
流動負債合計	43,008	47,850
固定負債		
長期借入金	498	465
繰延税金負債	164	160
役員退職慰労引当金	152	156
退職給付に係る負債	101	102
債務保証損失引当金	18	15
資産除去債務	26	26
その他	260	239
固定負債合計	1,222	1,165
負債合計	44,230	49,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,503	2,503
資本剰余金	2,628	2,628
利益剰余金	19,356	19,704
自己株式	△284	△260
株主資本合計	24,204	24,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	433	382
その他の包括利益累計額合計	433	382
非支配株主持分	244	240
純資産合計	24,881	25,199
負債純資産合計	69,112	74,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	15,538	17,223
売上原価	12,709	14,143
売上総利益	2,829	3,079
販売費及び一般管理費	1,744	1,852
営業利益	1,084	1,227
営業外収益		
受取利息	5	13
持分法による投資利益	—	12
受取手数料	7	29
投資有価証券売却益	15	21
投資事業組合運用益	189	—
為替差益	—	5
債務時効益	2	1
その他	1	1
営業外収益合計	222	86
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産売却損	—	4
持分法による投資損失	40	—
投資事業組合運用損	—	3
為替差損	8	—
デリバティブ評価損	9	—
その他	0	0
営業外費用合計	63	12
経常利益	1,242	1,301
税金等調整前四半期純利益	1,242	1,301
法人税、住民税及び事業税	399	542
法人税等調整額	5	△126
法人税等合計	405	416
四半期純利益	837	884
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	820	888

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	837	884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△50
その他の包括利益合計	△14	△50
四半期包括利益	822	834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	805	837
非支配株主に係る四半期包括利益	17	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,819	5,719	15,538	—	15,538
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6	0	6	△6	—
計	9,825	5,719	15,544	△6	15,538
セグメント利益	419	663	1,083	0	1,084

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,486	5,736	17,223	—	17,223
セグメント間の内部売上 高又は振替高	10	0	10	△10	—
計	11,497	5,736	17,234	△10	17,223
セグメント利益	638	583	1,222	5	1,227

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	174百万円	176百万円
のれんの償却額	28	40